



# ほづみ

郡山市立穂積小学校  
学校便り No.40  
令和5年2月13日  
文責：校長 中澤修一

## GW前に「運動会」を行うことの教育的意義

現在のところ、令和5年度もGW（ゴールデンウィーク）前に「運動会」を実施するよう考えています。

GW前に「運動会」を行うことの教育的意義について、私の考えを述べたいと思います。それは、大きく2つあります。

- 1 入学・進級したことへの自覚
- 2 GW後の落ちつきのある学校生活

### 【1について】

「運動会」は、本番での運営・競技も大切だとは思いますが、それ以上にそこまでの準備や練習の過程に教育的意義があると考えます。

6年生は、中心となって運営に関わり、責任のある仕事を任されることで、学校全体のリーダーとしての自覚をもちます。

1年生は、いっしょに練習に参加することにより、上級生の姿からたくさんのことを学び、小学生になったことの意識が芽生えます。

他の学年の児童も、2年生は1年生のお手本となるように、3年生は下学年のリーダーとして、4年生は下学年から上学年の仲間入りしたこと、5年生は高学年として学校全体に関わることなど、1つ学年が上がったことを喜び、意欲的に活動することができます。

それが4月です。

### 【2について】

GW後に「運動会」を実施した場合でも、どうしても「運動会」が気になり、4月から準備や練習を行うようになります。また、GWを挟むことで、そこまでの練習内容を忘れてしまい少し戻って練習しなければならないことも生じます。GWで生活のリズムが崩れているかもしれないところに、準備・練習が入ってくると学校生活のリズムにも影響がでます。GW前に「運動会」を終えていれば、GW明けから「運動会」で高まった意欲

の下、児童も教師も心にゆとりをもって、学習やその他の教育活動に向けてリスタートできると考えます。

もちろん、GW前に「運動会」を行うことの不安も考えられます。その対策を述べます。

## 短い期間で準備や練習は間に合うのか。

「運動会の練習は4月から始めなくてはならない」というきまりはありません。2月くらいから運動会を視野に入れた内容を少しずつ入れていけばよいと思います。本校は単学級でクラス替えがないので、それが可能です。係児童の選考や練習も同様です。新入生は、無理のないように配慮し、上級生といっしょにがんばった経験を大切にさせたいと思います。

## リレー選手の選考が難しいのではないのか。

「選抜リレー」ではなく、「全校生リレー」を考えています。全校生が参加するので、選抜する必要はありません。もし「選抜リレー」だとしても、クラス替えがないので3月中に選考できます。新入生については、走ってバトンを渡すことができるところまでは練習させたいと思います。

## 徒競走以外の団体種目の練習に時間がかかるのではないのか。

下記のような種目が優れていると考えます。

- ① 競技者も参観者もルールがよく分かり、誰もが楽しむことができる。（毎年やっても飽きない）
- ② 準備や練習にあまり時間を要しない。（複数年使うことができる準備物）
- ③ 競技年齢が限定されず、どの年代でもすぐに参加できる。

このような種目を考えていきたいと思えます。来年度は、創立150周年記念事業の一つとして、保護者も地域の方もいっしょに楽しむことができる「参加型の運動会」にしたいと考えています。